

平成 23 年 4 月 7 日

# 仙台市への派遣職員帰庁報告

## ～被災宅地危険度判定業務完了～

豊島区が宮城県へ派遣していた被災宅地危険度判定士職員三名が予定業務を完了し、4月4日帰庁、6日区長への帰庁報告を行なった。

三名は、4月1日から3日までの三日間にわたり、仙台市災害対策本部に設置された被災宅地危険度判定実施本部の指揮の下、仙台市太白区、青葉区内の造成団地個人住宅 33 棟について宅地擁壁、のり面、地盤被害による外観調査を基本とした危険度の判定調査を行なった。

派遣から戻った職員は、「現場は、仙台市内の丘陵地で昭和 30 年から 40 年代に宅地造成された団地。高さ 4～5 メートルの擁壁が崩壊したり亀裂が入っていた。また半径 100 メートルにもおよぶ断層ができていたり、想像していた以上に地震による惨状は酷かった。」と実際に目の当たりにした現地の様子を報告した。

### 派遣職員（3名）

森 輝（もり あきら 59 歳 土木部道路管理課監察美化係 係長）

鈴木 良則（すずき よしのり 49 歳 土木部公園緑地課公園管理事務所 主任主事）

川崎 成樹（かわさき なるき 45 歳 土木部公園緑地課公園管理事務所 主任主事）

報告の様子



調査中の職員



現地の様子



現地の様子



問い合わせ： 道路管理課